とっとりインターンシップ
2026年夏季ふりかえり会

- 夏のインターンシップ結果報告
- 学生アンケート結果まとめ
- 企業アンケート結果まとめ
- パッケージ型 概要・アンケートまとめ

2026年11月5日
鳥取県中小企業団体中央会
とっとりインターンシップ推進事業

2026年夏季の実施結果

◆参加学生数：【延べ数】 **353名**（県内大学180名、県外大学173名）

単独企業参加：275名、パッケージ型参加：78名
地域別：東部企業−172名、 中部企業−61名、 西部企業−113名、 他(県外に本社)−7名

【実数】 **268名**（県内大学 124名、県外大学144名）

◆受入企業数： 78社（東部-43社、中部-11社、西部-22社、他-2社）パッケージ-16Pack

この夏の特徴

県外学生の参加が拡大し、県内学生とほぼ同規模に

県外学生は延べ173名。前年夏季の139名から34名増加

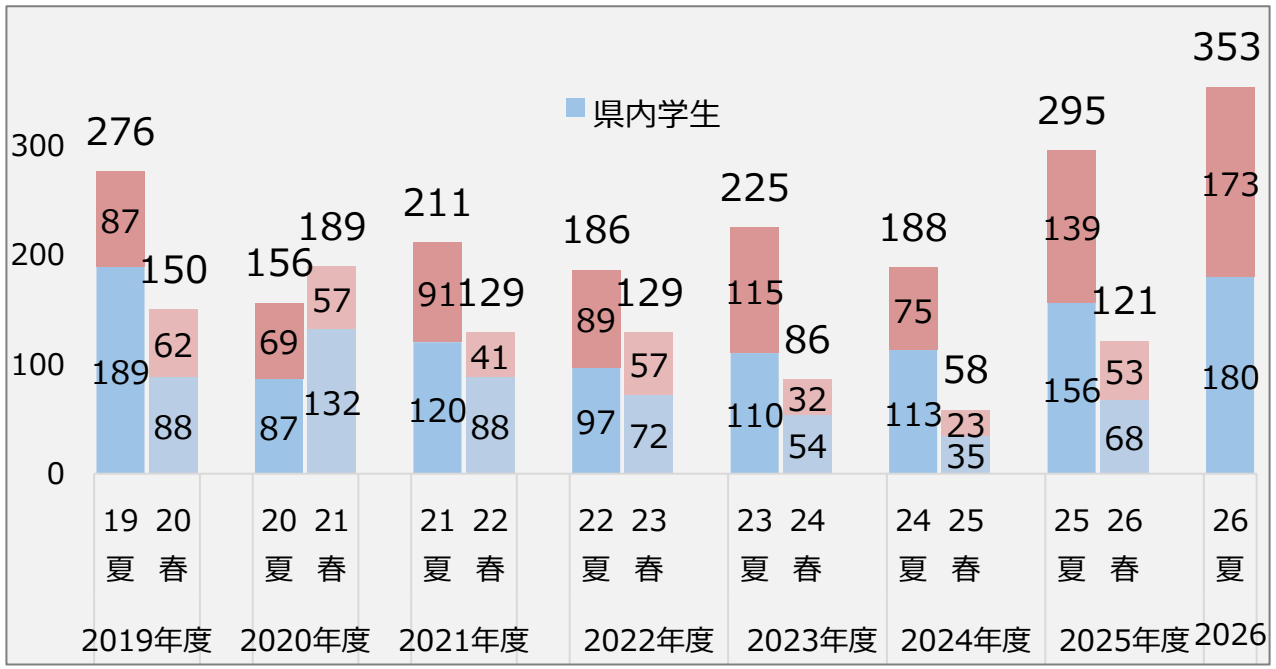
この夏の実施結果を振り返る3つのポイント

1. 参加状況の変化	参加者数や県内外の構成は、どのように変化したか
2. 学生の参加傾向	どのような学生が、どのような日数・参加形態で参加したか
3. 企業・地域への広がり	受入企業や地域・業種に、どのような広がりや特徴が見られたか

■ 参加学生数、受入企業数の推移

とっとりインターンシップ

＜参加学生数推移（延べ数）＞



県外学生の参加が拡大

24年夏以降、県外学生の参加が大きく伸長

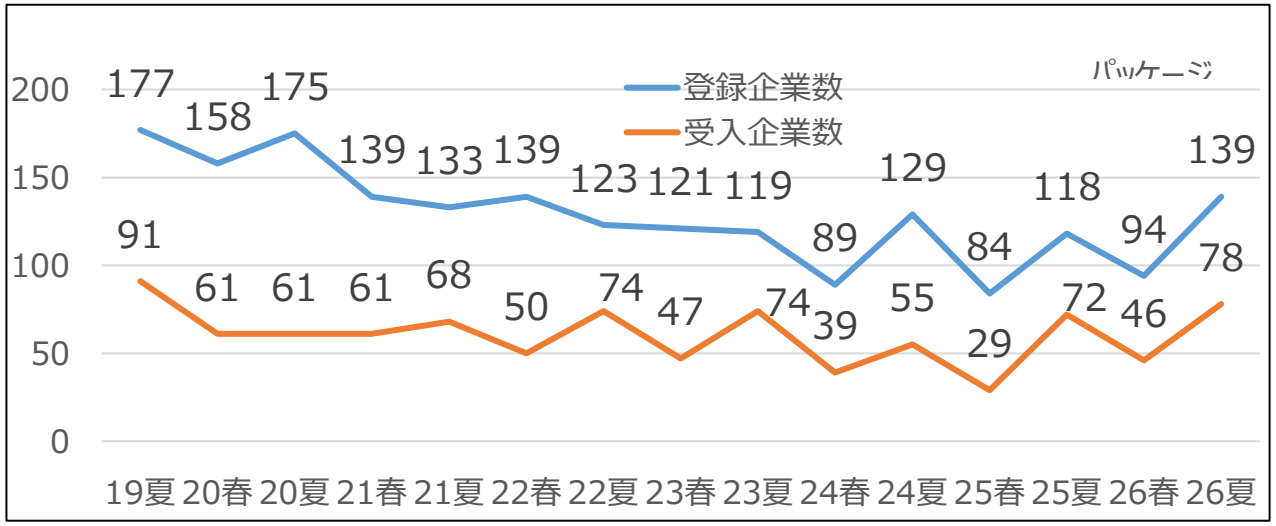
75名 → 139名 → 173名

24年夏 → 25年夏 → 26年夏

＜参加拡大を支える取り組み＞

1. 助成制度の拡充
   - 25年：交通費・宿泊費を全額助成
   - 26年：助成上限を6万円→9万円へ拡大
2. パッケージ型の展開
   - 複数企業を組み合わせた実習を体験し、多様な企業・仕事に触れる機会を拡充

＜企業登録・受入数推移＞



24年夏以降、受入企業数も増加

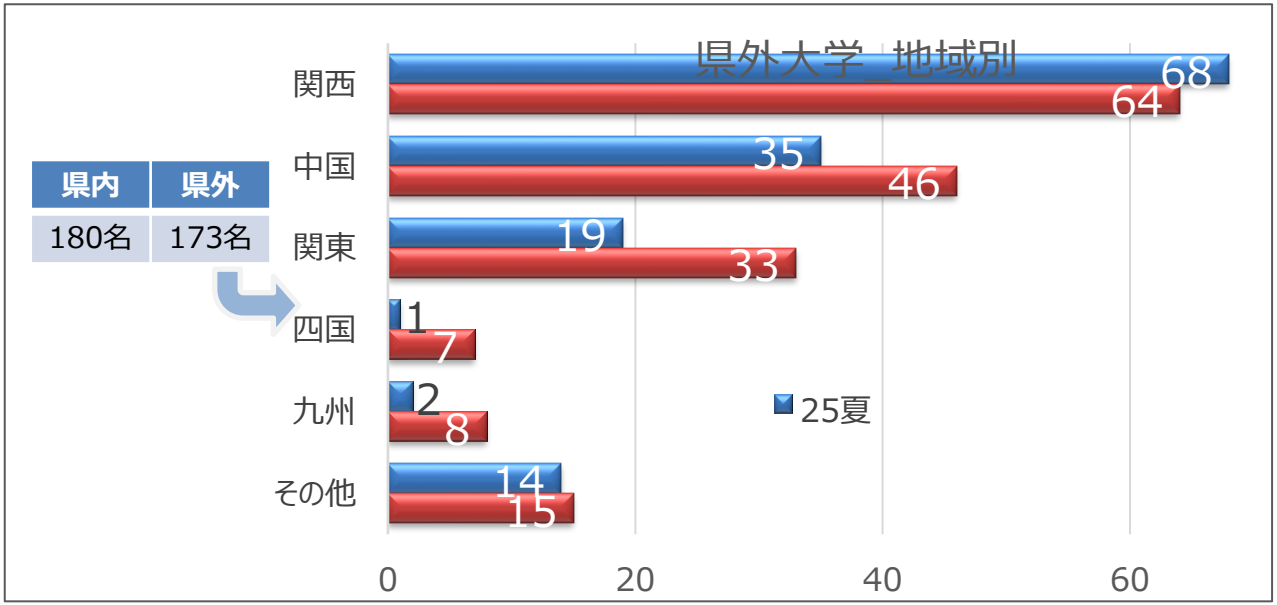
学生の参加拡大とともに受入企業数も増加

55社 → 72社 → 78社

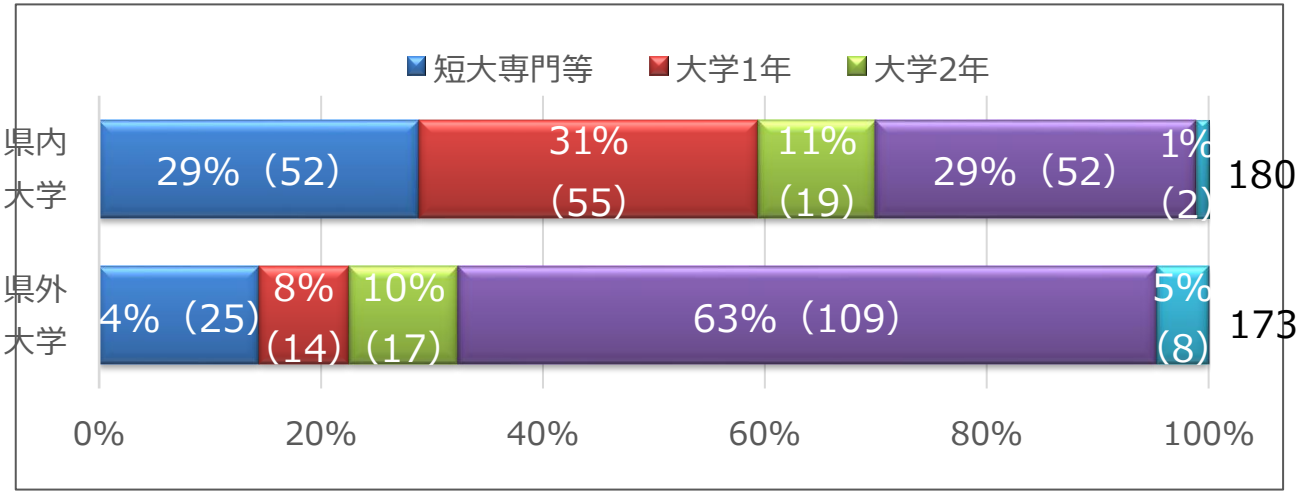
24年夏 → 25年夏 → 26年夏

■ 参加学生の属性（地域別、学年別）

<県内外／地域別>



<学年別>



県外学生は中国・関東地域で増加

25年夏と比較して、中国・関東地域からの参加が増加

中国地域	関東地域
35名 → 46名	19名 → 33名
25夏　26夏	25夏　26夏

中国地域は＋11名、関東地域は＋14名増加
関西地域はやや減少しているが、引き続き最多の地域

県内・県外大学で異なる学年構成

1 県内大学は低学年からの参加が中心

短大・専門学校	大学1年生	大学2年生
29%（52名）	31%（55名）	11%（19名）

大学1・2年生で約42%、短大等も含めて早い段階からインターンシップに参加

2 県外大学は大学3年生が中心

大学3年生　63%（109名）

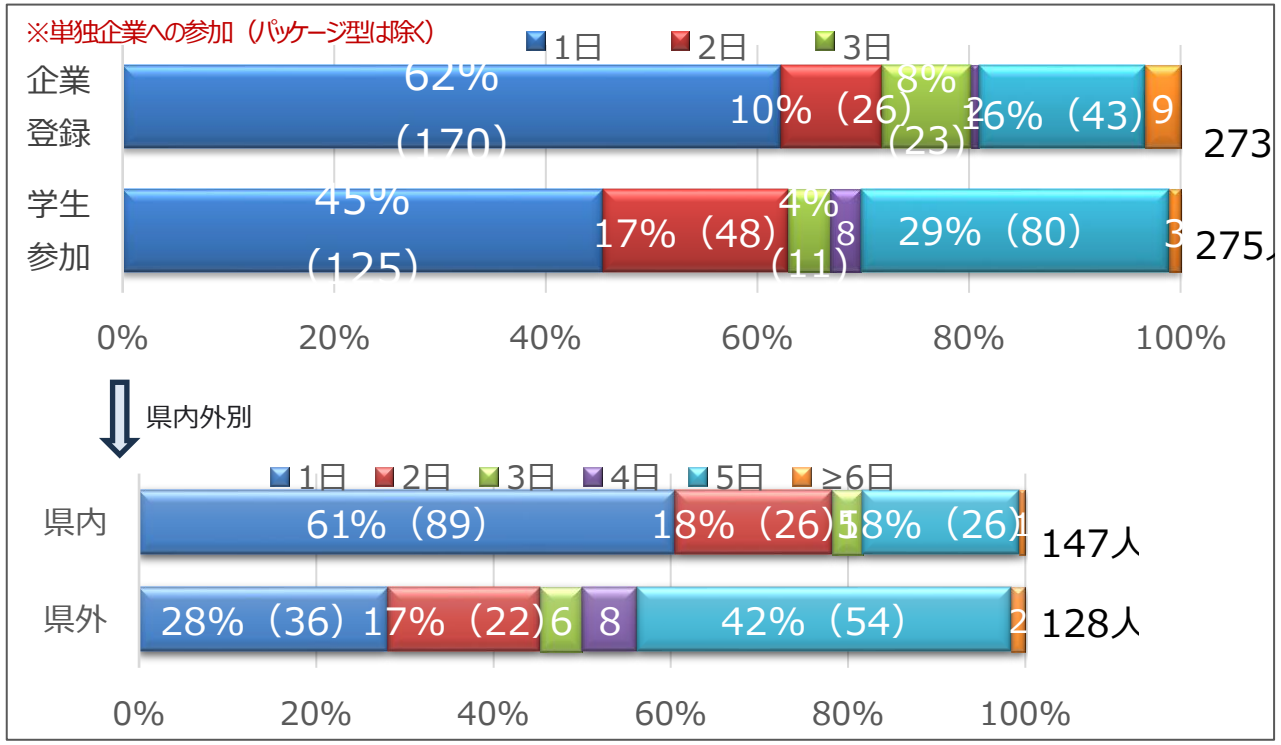
就職活動を間近に控えた学生の参加が多い構成

■ 実習日数別の参加状況、会社を知ったきっかけ

とっとりインターンシップ

学生の参加状況と企業との接点

＜企業登録・学生参加数＞ ※単独企業型への参加：延べ**275名**



複数日型プログラムにも学生参加の広がり

1 企業登録と学生参加では日程構成に違い

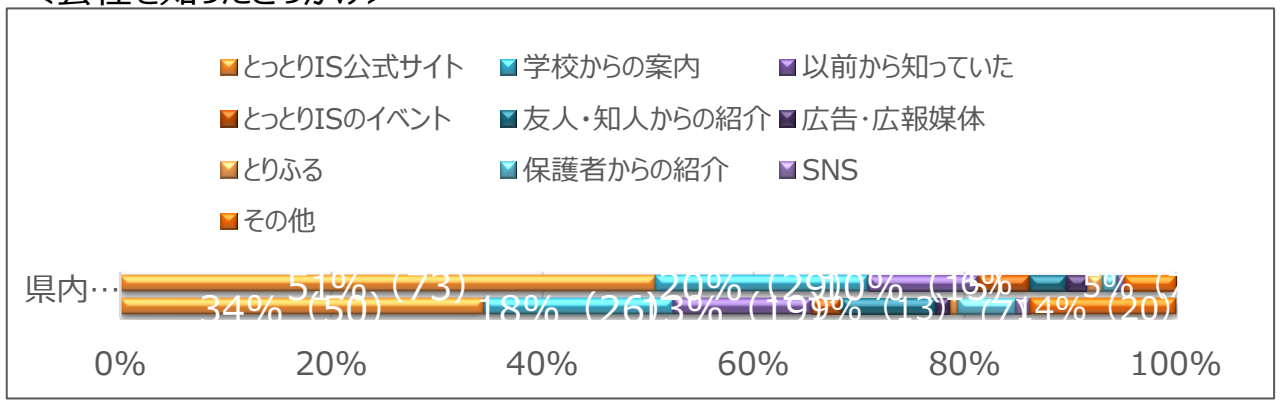
企業登録	学生参加
1日型 62%	1日型 45%
5日型 16%	5日型 29%

2 県内外で異なる参加日数

県内学生	県外学生
1日型 61%	5日型 42%
5日型 18%	1日型 28%

県内は1日型が中心。県外は5日型の参加割合が高く、参加日数の構成が異なる

＜会社を知ったきっかけ＞



とっとりISホームページと学校案内が県内・県外とも主な認知経路

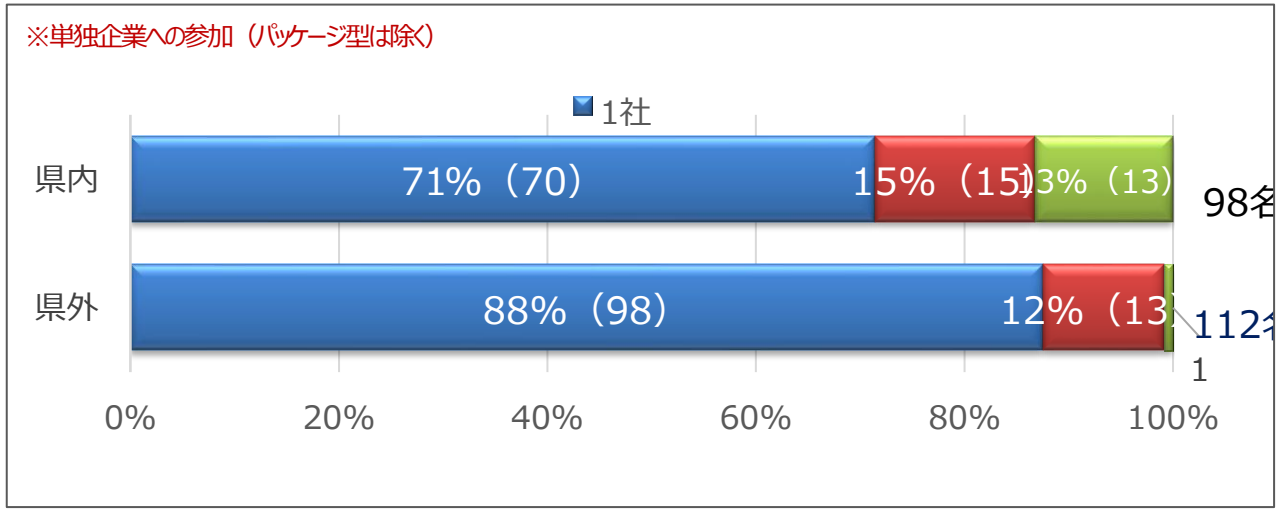
県内学生	県外学生
HP51%	HP34%
学校20%	学校18%

・学校からの案内も、県内外ともに重要な接点
・県外は、さらに友人・知人・保護者などからの情報も影響が大きい

■ 参加社数・累計参加日数 （実人数）

学生はどの程度、継続的に参加したか

＜各学生の参加社数（実人数）＞



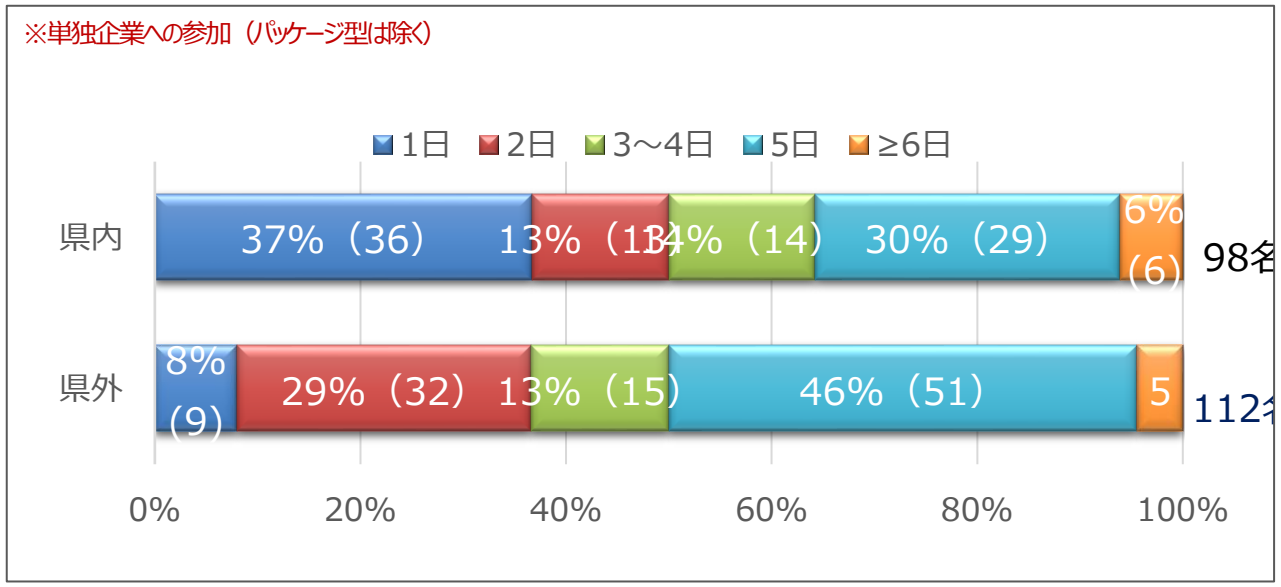
県内学生は複数企業への参加が比較的多い

2社以上への企業参加

県内学生	県外学生
29% 28名/98名	13% 14名/112名

県内学生は約3割が2社以上に参加。複数企業を経験する機会が、企業理解を広げる一つの形になっている

＜累計参加日数（実人数）＞



県外学生は1つのプログラムで複数日参加する傾向

実人数に占める累計「5日以上」の割合

県内学生	県外学生
36% 35名/98名	50% 56名/112名

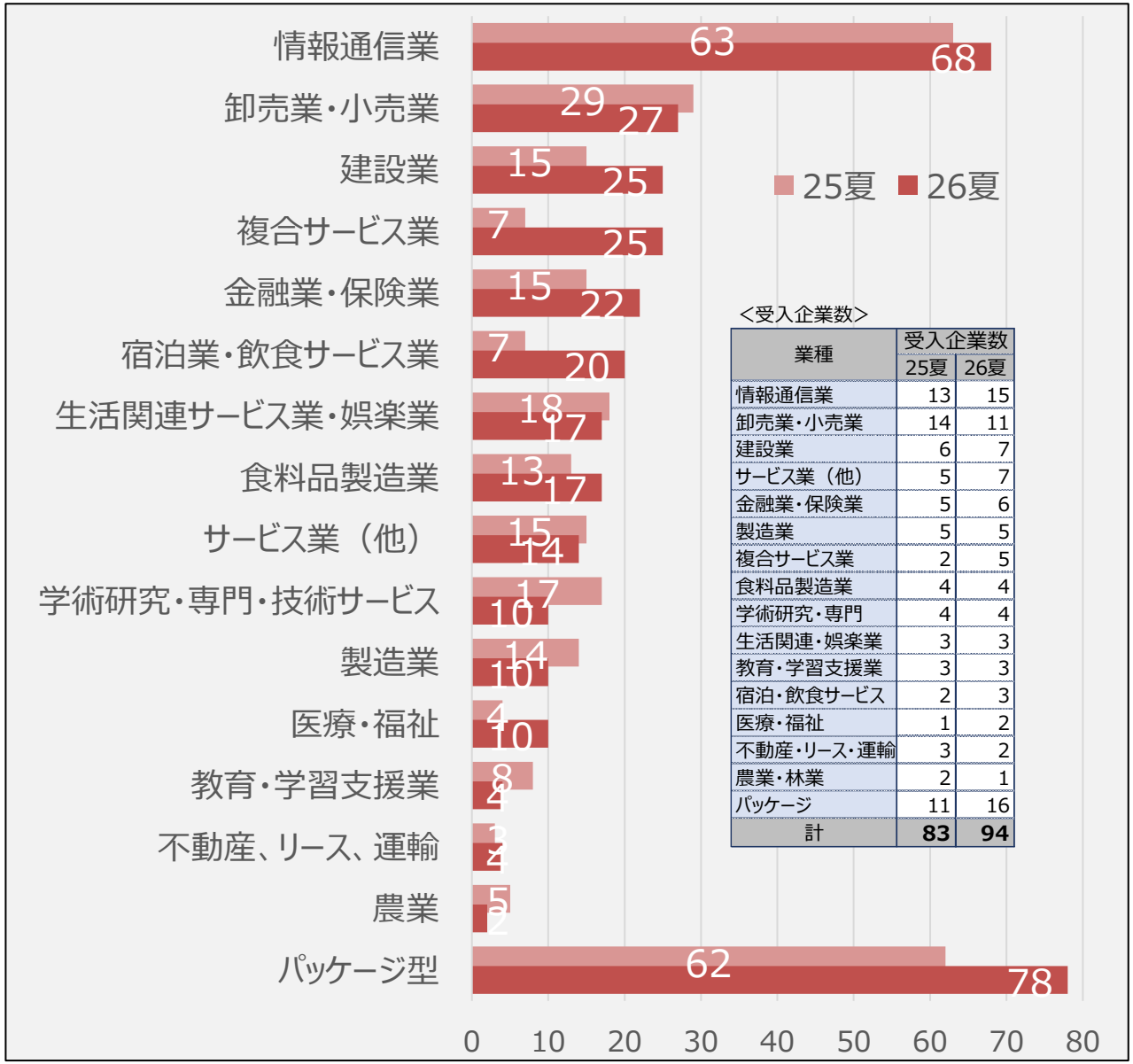
県外学生は累計5日以上が半数を占め、県内学生より高い割合。県外学生には、まとまった期間で仕事を体験できるプログラムも重要な選択肢と考えられる

交通費・宿泊費の助成条件（通算2日以上）が、県外学生の参加日数に影響している可能性も考えられる

■ 業種別の受入状況・学生参加数

どの業種に学生が参加したか

＜業種別参加数＞



＜受入企業数＞

業種	受入企業数	
	25夏	26夏
情報通信業	13	15
卸売業・小売業	14	11
建設業	6	7
サービス業（他）	5	7
金融業・保険業	5	6
製造業	5	5
複合サービス業	2	5
食料品製造業	4	4
学術研究・専門	4	4
生活関連・娯楽業	3	3
教育・学習支援業	3	3
宿泊・飲食サービス	2	3
医療・福祉	1	2
不動産・リース・運輸	3	2
農業・林業	2	1
パッケージ	11	16
計	**83**	**94**

① 情報通信業が参加数・受入企業数ともに最多

学生参加数 63名 → 68名 ｜ 受入企業数 13社 → 15社

学生参加数、受入企業数ともに最も多く、引き続き主要な受入業種

② 建設業で学生参加数が増加

学生参加数 15名 → 25名 ｜ 受入企業数 6社 → 7社

受入企業数の増加に加え、学生参加数も10名増加

③ 複合サービス業・宿泊業等で増加

複合サービス業 7名 → 25名
宿泊・飲食サービス業 7名 → 20名

いずれも学生参加数が大きく伸び、受入企業数も増加

④ パッケージ型が学生参加数・受入企業数ともに増加

学生参加数 62名 → 78名 ｜受入数 11Pack→ 16Pack

学生参加数は16名、受入は5Pack増加。学生の参加機会を支える実習タイプとなっています。

※人数・企業数は25夏と26夏の比較

学 生 ア ン ケ ー ト 結 果

◆アンケート方法　：　学生の実習終了後、随時GoogleFormよりオンライン回答

◆アンケート回答数：　153名　（依頼：222名）　回収率 69%　※氏名無記入方式で回答依頼

学生の視点から、参加前の期待・参加後の成果・今後の希望を確認

01

参加前の期待

何を目的に参加し、
何を基準に企業・プログラムを選んだか

02

参加後の成果

どのような学びや気づきがあり、
満足度や理解につながったか

03

今後の希望

どのような内容・日数・形式の
インターンシップを希望しているか

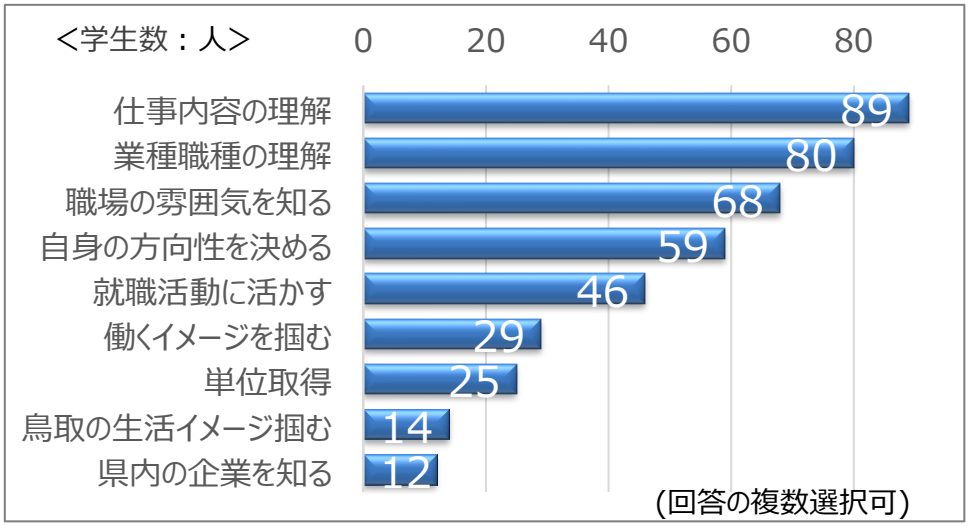
学生が参加を通じて得た成果と、今後求める機会を確認する

参加前の意識と参加後の評価を対比し、今後のプログラムづくりや受入れ内容の充実につなげます

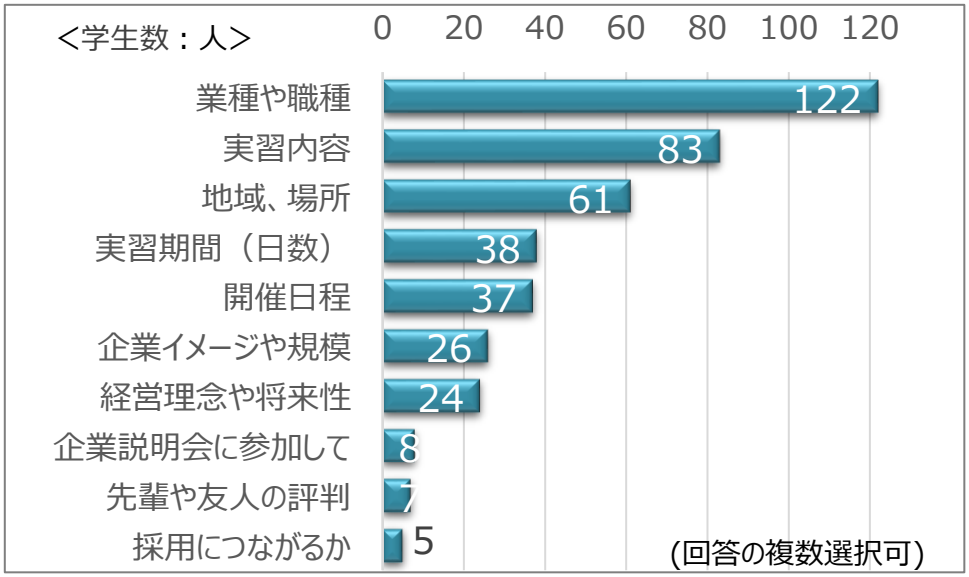
■ 参加前の意識と企業選択のポイント

とっとりインターンシップ

インターンシップ参加目的



企業選択で重視したこと



学生アンケートから見える3つのポイント

① 参加目的から分かること

仕事内容の理解 89件｜業種・職種の理解 80件

学生は、業界の概要だけでなく、実際の仕事や働く環境を知ることを目的に参加

② 企業選択から分かること

業種・職種 122件｜雰囲気・社風 83件｜地域・場所 61件

仕事内容に加え、職場の雰囲気や勤務地も、企業を選ぶ際の判断材料になっています。

まとめ

①②を総合して分かること

学生は「何を学べるか」を知りたくて参加し、「どんな仕事・職場・地域なのか」を考えて企業を選択している

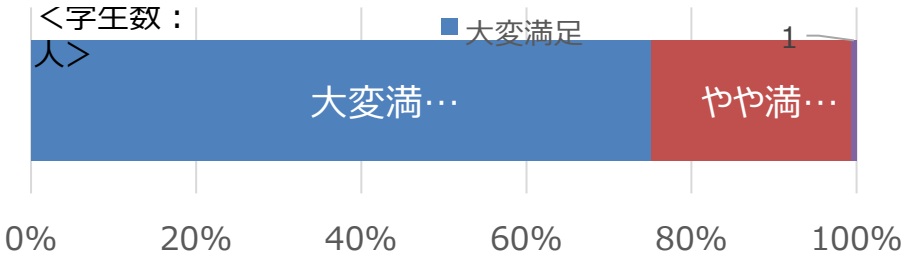
学生の関心に応えるためのおすすめ

・実際の仕事内容や実習内容を具体的に伝える
・社員との交流を通じて、職場の雰囲気を知ってもらう
・仕事と地域とのつながりや、地域で働く魅力を伝える

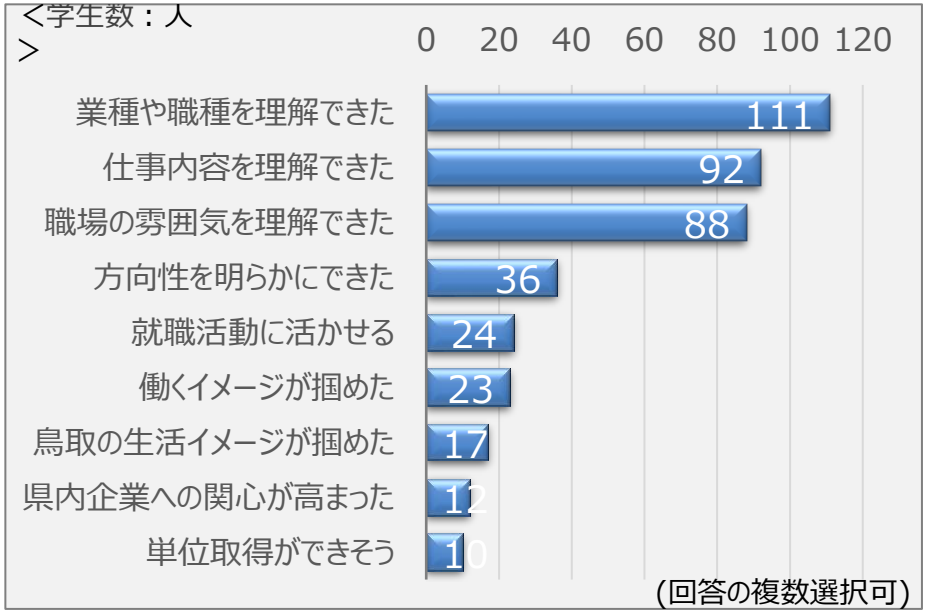
■ 参加後の満足度と得られた成果

とっとりインターンシップ

参加満足度



参加して良かったと思うこと



学生アンケートより｜参加して良かったと感じた理由

上位3項目の自由記述から抜粋

①業種・職種への理解

- 「業界でどのような仕事をするのか、密に体験できた」
- 「詳しく知らなかった業種について理解を深められた」
- 「やりたい業種を絞るために参加し、大体絞ることができた」

②企業の仕事内容への理解

- 「食品企業の一連の流れを体験させてもらえた」
- 「普段体験できない上流工程を、実際のサービスに基づいて体験できた」
- 「5日間でいろんな部署を回り、仕事への理解が深まった」

③企業・職場の雰囲気

- 「職場と中継現場、両方の雰囲気を知ることができた」
- 「職員の方との座談会があり、職務のイメージがしやすかった」
- 「フレンドリーに働いている方々と話すことができた」

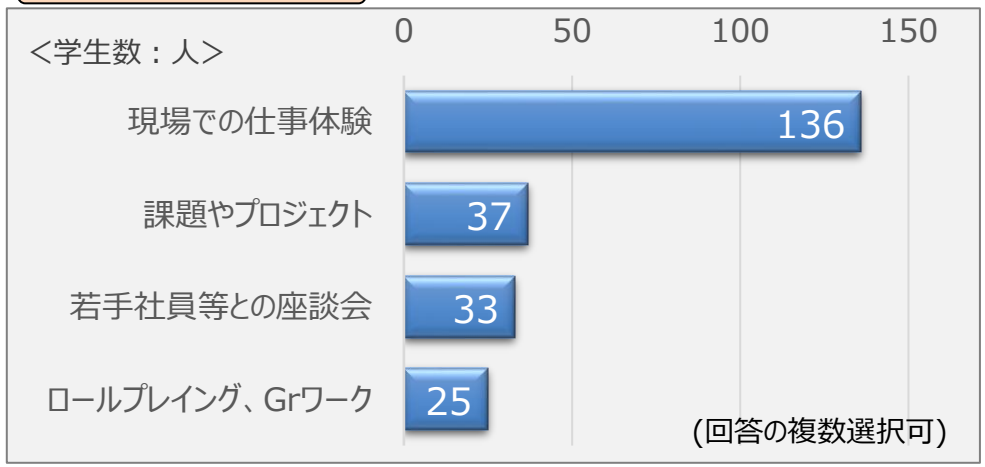
まとめ

実際の仕事を体験することで業務・業界への理解が深まり、
社員との交流や職場の雰囲気を知ることが、進路を考える
うえでの具体的な手がかりになっている

■ 今後希望するインターンシップ内容・参加形態

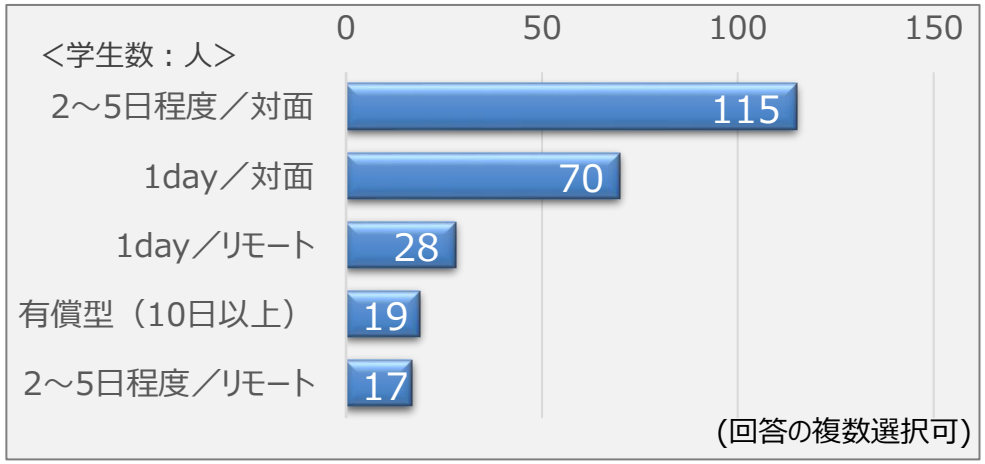
とっとりインターンシップ

今後参加したいプログラム



- 現場での仕事体験が最多（136件）実際に仕事を体験して理解したいニーズが強い
- 課題・プロジェクト型も37件あり、考える・取り組む体験も求められている
- 若手社員との座談会も33件。実際に働く人の話を聞き、仕事や職場への理解を深めたいニーズもうかがえる

次回の参加希望形態



- 「2～5日／対面」が最多（115件）、次いで「1day／対面」（70件）と、対面で職場や実際の仕事を知る機会への希望が強い

まとめ

現場での実体験を軸に、対面・複数日程を基本としながら、多様な学び方も検討することが学生ニーズに応えるポイント

企業アンケート結果

◆アンケート方法　：　学生の受入終了後、随時GoogleFormよりオンライン回答

◆アンケート回答数：　69社（回収率 68%）※パッケージ型参加を含む受入企業102社に依頼

企業の視点から、受入れの目的・学生への評価・今後の意向を確認します

01

受入れの目的と満足度

どのような目的で学生を受け入れ、
受入れをどのように評価したか

02

学生への評価と受入れ効果

学生の姿勢・理解度をどう評価し、
企業や職場にどのような効果があったか

03

今後の受入れ方針

今後どのような日数・形式で、
学生を受け入れていきたいか

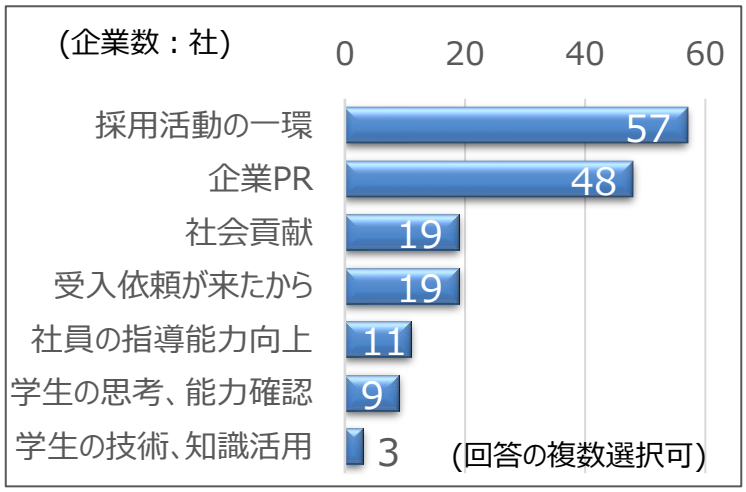
企業が受入れを通じて感じた成果と、今後の受入れに向けた考えを確認する

企業側の評価や意向を、学生アンケートの結果とも照らし合わせながら紹介します

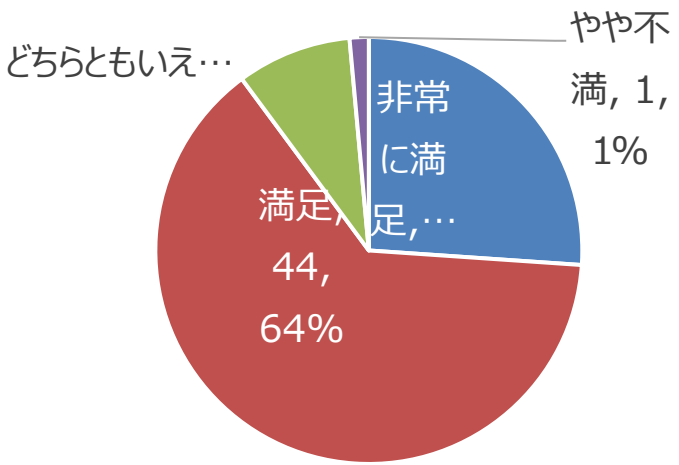
■ インターンシップ受入目的と満足度

とっとりインターンシップ

インターンシップ受け入れ目的



受け入れ満足度



受入目的から分かること

①採用活動や企業PRにつながること

採用活動の一環 57件 ｜ 企業PR 48件

学生に自社の仕事や魅力を知ってもらい、将来の採用につなげることを目的とした受入れが中心となっている

②社会貢献や社員の成長の機会として

社会貢献 19件 ｜社員の意識･能力向上 11件

学生の学びを支援するだけでなく、受入れを通じて社員自身の成長や意識向上につなげたいという目的も見られる

受入満足度

企業の約9割が受入れに満足しており、インターンシップは企業にとっても有意義な機会となっている

企業の代表コメント

【宿泊･観光業｜新しい発想･アイデア】

「ホテルの企画を体験していただく中で、私たち社員にはないアイデアが出てきたので、今後の参考にしたいと思います。」

【小売･サービス業｜主体性･積極性】

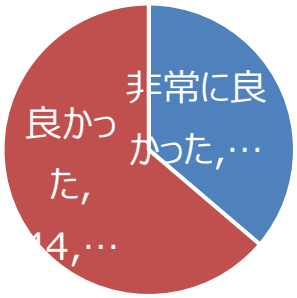
商品のお勧めや片付けなどに、職員以上に積極的に取り組む学生がいたことに感心した、という声がありました。

【建設業｜学ぶ姿勢･事前準備】

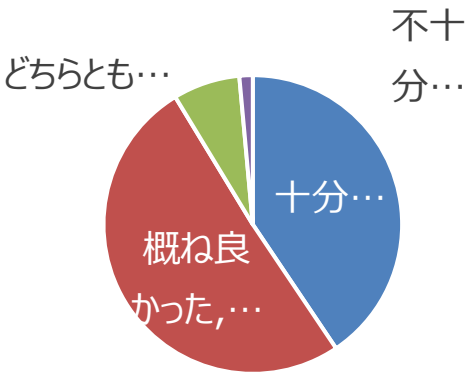
「前もって会社のこともよく勉強されており、話を真剣に聞いてくださる姿勢は、社員みんながとても感心していました。」

■ 受入企業から見た学生の評価

学生への評価：姿勢・態度



学生への評価：理解力・スキル



企業から見た学生の評価

①姿勢・態度は高く評価

非常に良かった 36% ｜ 良かった 64%

受入企業からは、学生の姿勢・態度について肯定的な評価が得られており、積極性や礼儀、周囲との関わり方などが評価されている

②理解力・スキルも概ね良好

十分だった 41% ｜ 概ね良かった 51%

多くの学生が、実習に必要な理解力やスキルを備えていると評価されている一方、個人差も見られるため、学年等に応じた指導も必要

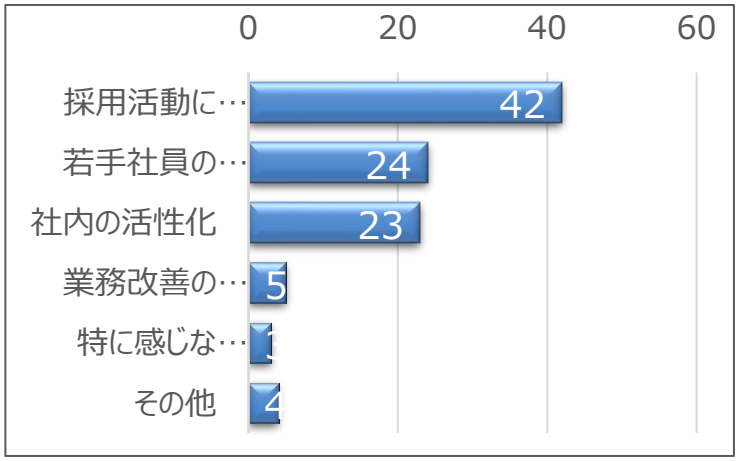
学生に関して感心した点や、気になった点

カテゴリ		傾向の概要	代表コメント
感心した点	積極性・主体性	「積極的にコミュニケーションをとり、意欲的に取り組んでいた」など、主体的に実習へ取り組む姿勢を評価する声が見られる	【複合サービス】積極的にコミュニケーションをとり、意欲的に取り組んでいた 【小売業】とにかく一生懸命取り組んでくださったのでとても感心した
	コミュニケーション・質問姿勢	積極的な質問や交流に加え、人の話を聞き、自分の意見を伝える力を評価する声がある	【運輸】人の話をよく聞き自分の意見を持ち、それを人に伝える力があると感じた 【食品製造】積極的にわからないこと等を質問してくれた
	理解力・表現力・スキル	研修内容を理解して発表に活かす力や、デジタル処理能力など、学んだことを形にする力が評価されている	【食品製造】研修でしっかり学び、それを活かしたプレゼンができた 【情報通信】真面目に参加してくれて、デジタルの処理能力が高いことに感心した
	目的意識・キャリア意識	就職や将来を見据え、目的意識を持って参加する姿勢や、低学年からキャリアを考えて行動する点が評価されている	【観光業】就職を見据え、しっかり目的意識を持って参加している方が多かった 【建設業】一年生だが、早期から自身のキャリアについて行動している点が素晴らしい
気になった点	礼儀・態度	一部、訪問先での言葉遣いや場面に応じた行動など、社会人マナーについて事前の説明・指導が必要との意見がある	【卸売業】訪問先での言葉遣い・学ぶ姿勢についてある程度の指導が必要だと感じた
	学ぶ姿勢・参加目的の確認	参加目的を事前に確認したいという意見や、学ぶ姿勢について一定の指導が必要との声も見られる。	【林業】就業目的かどうかが、事前にはっきり分かった方が良い

■ インターンシップ受入による企業への効果・影響

とっとりインターンシップ

社内への効果・影響



企業から見たインターンシップの効果

①採用活動に役立った

42件

学生との接点を持つことが、自社の認知度向上や将来の採用活動につながっている

②若手社員の成長機会になった

24件

学生に教え、関わる経験が、若手社員の成長につながっている

③社内の活性化につながった

23件

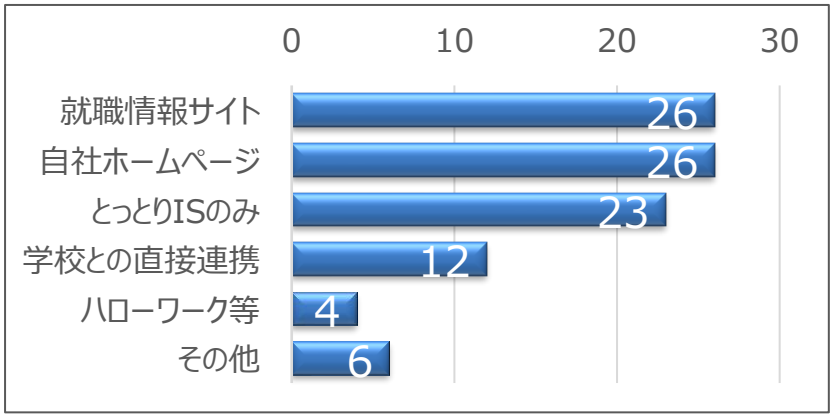
学生の視点や積極的な姿勢が、職場に刺激をもたらしている

受け入れを通じた効果・気づき

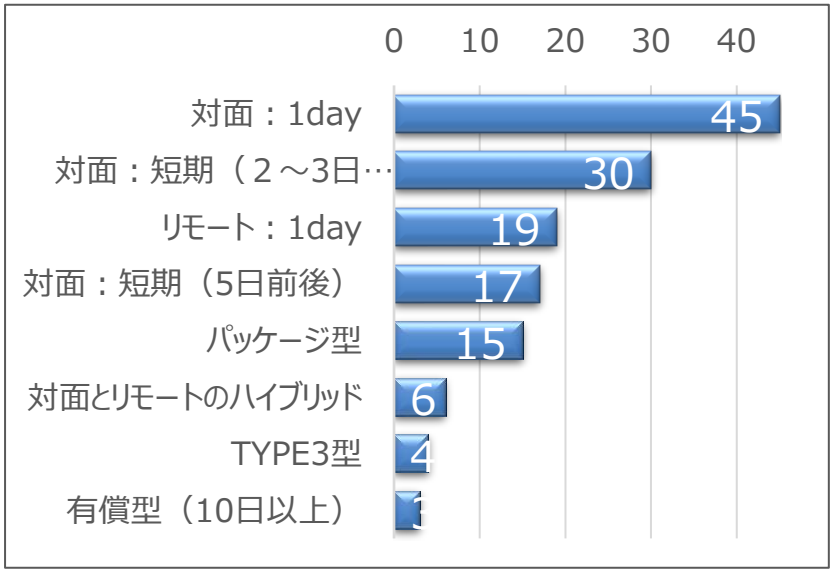
カテゴリ	代表コメント（抜粋）
担当者の気づき・成長	【建設業】「自社のプログラムの改善点はいくつか見つかりました」 【自動車販売業】「社員の成長が不可欠だということに気づけました」
プログラムの改善・工夫	【建設コンサルタント業】「1Day仕事体験プログラム案を社員から出してもらい、今夏は色々試すことができた」 【住宅・リフォーム業】「課題の有効性をあらためて感じました」
職場の活性化・新たな視点	【鉄道・交通業】「思った以上に積極的でやりがいがあった」 【情報発信・メディア関連】「学生視点での情報発信」

■ 学生の募集経路と今後の受入れ方針

学生への募集経路



今後検討している受入形態



募集経路のポイント

就職情報サイト・自社HPに加え、とっとりISのみを利用する企業も多く、
学生と企業をつなぐ接点となっている

受入形態の結果から見える傾向と検討理由

①1day・2～3日型が中心（45件・30件）

まずは取り組みやすい短期間の受入が選ばれている
受入時間を確保しながら、学生との接点をつくりたい意向がうかがえます

代表コメント：「1日だと会社紹介で終わってしまうので。」

②５日間の実習で理解を深めたい企業も（17件）

5日前後の実習も選ばれており、仕事の現場を体験してもらい、相互理解を深めたいニーズも見られる

代表コメント：「実際の仕事現場に入ってやりがいを感じてもらいたい」

③パッケージ型も選択肢に（15件）

複数企業での受入も一定数あり、単独では難しいプログラムや、
他社との連携による学びの幅を広げる方法として期待されている

代表コメント：「異業種の方とのコミュニケーション促進が期待できるため」

パッケージ型 概要とアンケートまとめ

◆アンケート方法　：　パッケージ型へ参加した学生の実習後GoogleFormよりオンライン回答

◆アンケート回答数：　50名　（依頼：75名）　回収率 67%　※氏名無記入方式で回答依頼

複数企業・団体が連携するパッケージ型の成果と、今後の可能性を確認

01

パッケージ型の特徴

参加実績やプログラムの構成から、
どのような参加機会が生まれたか

02

学生・企業それぞれの評価

学生の満足度や参加意欲、
受入企業が感じた成果や評価はどうか

03

成果と今後の改善

参加を通じた成果を踏まえ、
プログラムや運営に何が求められるか

学生と企業の双方の声から、パッケージ型の価値と課題を確認する

複数の受入先を組み合わせる取組の成果を整理し、今後のプログラムづくりにつなげます

■ パッケージ型の参加実績と学生の特徴

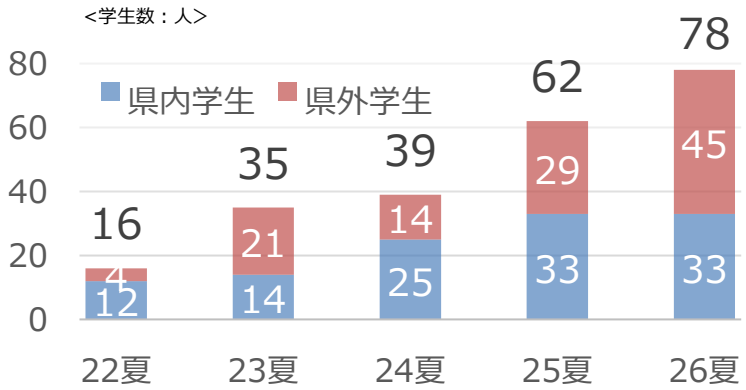
とっとりインターンシップ

パッケージ別 参加数

	実施プログラム	参加数
ALL	とっとり横断5days・建設ver	5
東部	鳥取市・行政企業	7
	若桜町・暮らすインターン	4
	鳥取砂丘・観光業体験	4
	鳥取卸センター体験	3
	鳥取県協同組合	7
	トヨタ合同／福祉合同	3
中部	倉吉市・暮らすインターン	7
	琴浦町・暮らすインターン	7
	三朝温泉・旅館体験	4
西部	米子市・行政企業体験	11
	米子市・3企業体験	4
	境港市・行政企業体験	8
	日南町・暮らすインターン	4
	参加数 合計	**78**

行政と企業を組み合わせたプログラムへの参加が比較的多く、暮らすインターンや観光・地域体験など、地域の特色を活かした企画にも幅広い参加があった

夏季パッケージ型参加推移



県外学生の参加拡大が、全体の増加を牽引

22年夏以降継続して増加、特に26夏は県外学生の参加が29名→45名へ増加したことが、全体の伸びを牽引

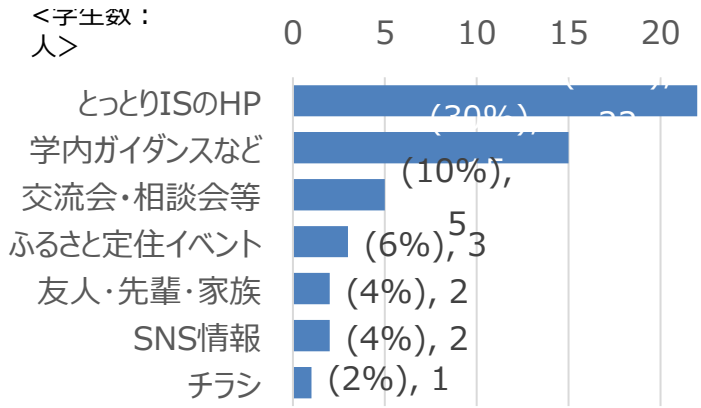
県内外・学年別 参加数

(学生数:人)	短・専1年	大1年	大2年	大3年	合計
県内大学	7	15	4	7	33
県外大学	1	5	8	31	45

県内は低学年、県外は3年生の参加が中心

県内は短大1年から大2年と早い学年からの参加が多い、一方、県外は就職活動を意識する3年生の参加が中心

知ったきっかけ



HPと大学内での周知が、学生との主な接点

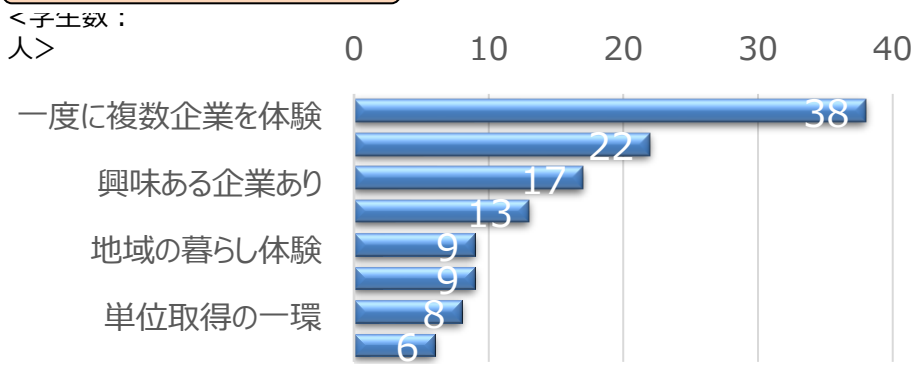
HPが44%あるが、学内ガイダンスや相談会や県外イベントなど、学生と直接接点を持つ機会が参加への認知につながっている

■ パッケージ型の魅力と学生の満足度

とっとりインターンシップ

複数企業・行政を比較できる体験が、学生の満足と職業理解につながる

プログラム選択理由



複数企業・行政を横断して体験できることが最大の魅力

複数企業・行政を一度に体験できることが最大の魅力。異なる業種や仕事を比較し、自分の関心や適性を考える機会として選ばれている

プログラム満足度

回答者全員が「大変満足」または「やや満足」と評価

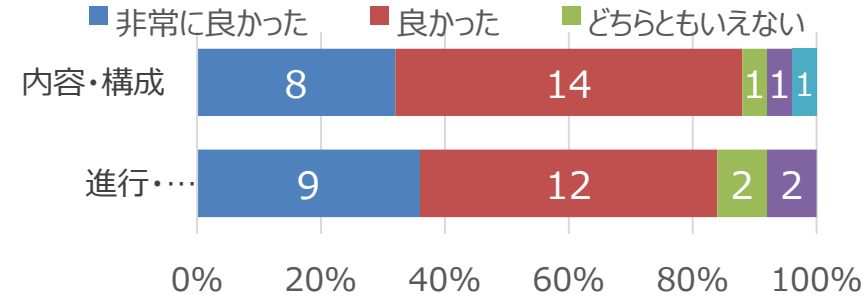
満足評価は100%。複数の企業・行政を比較できることに加え、実際の仕事体験や社員との交流、地域の魅力に触れる経験などが満足につながっている

満足度の理由　<学生コメント　要約抜粋>			
複数企業の比較	• 5日間で行政や複数企業を一気に比較でき、それぞれの違いを知ることができた。 • 短い期間で様々な業種を体験でき、新鮮な気持ちのまま企業同士を比較できた • 様々な業種を見て回り、自分に向いていること・向いていないことを明確にできた	新しい企業との出会い	• あまり興味を持てていなかった企業からも、たくさんのことを学ぶことができた • 最初は特定の企業への興味で応募したが、実習を終えて中小企業ならではの魅力を感じた • 当初は民間企業を進路の選択肢に考えていなかったが、体験を通じて選択肢が広がった
行政と民間の比較	• 5日間で民間企業と行政の仕事内容や職場の雰囲気を、自分の目で見て体験できた • 行政と民間企業の両方に参加できたことで、職業選択の幅が広がった • 行政に限らず様々な企業の体験ができ、幅広い業務を知ることができた	地域・暮らしの体験	• 仕事の体験だけでなく、実習時間外には客として温泉や温泉街も楽しむことができた • 観光客として訪れた際には気づかなかった地域の魅力を学ぶことができた • 地域に根付いて活躍する方々の話を身近に聞き、地域で働くことを考える機会になった。

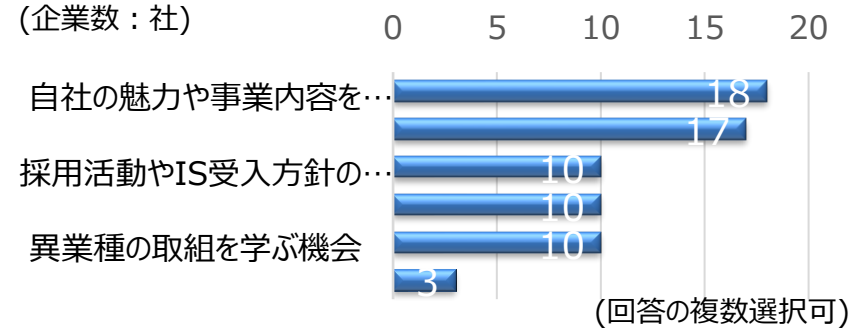
■ パッケージ型に対する企業の評価と参加意向

企業からも評価される、複数企業で取り組む意義

パッケージ型への評価

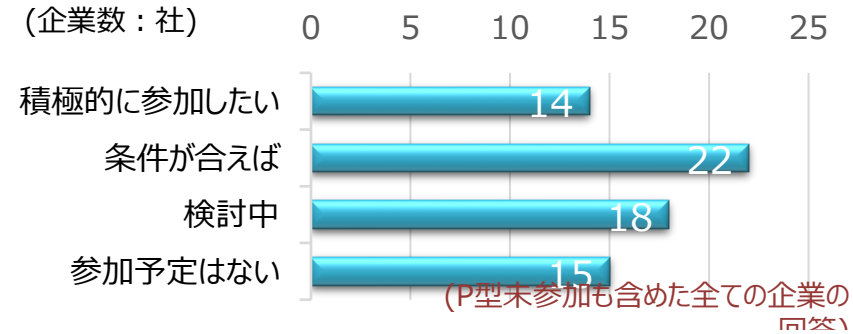


自社への効果・影響



(回答の複数選択可)

パッケージ型への参加意向



(P型未参加も含めた全ての企業の回答)

プログラム内容と運営面の双方で高い評価

内容・構成は88%、進行・スケジュールは84%と、プログラム内容だけでなく、進行・日程についても概ね良好な評価が得られている

パッケージ型への評価　<企業コメント　要約抜粋>	
内容・構成	• 企業間の交流や知識が広がる機会となった • 他業種との組み合わせにより、普段接点のない学生にも自社を知ってもらえた • 地域の多様な業種を体験することで、地域への理解を深めてもらえた
進行・スケジュール	• 事前打ち合わせやコーディネーターの支援により、円滑に実施できた • 企業側の負担感が少なく、対応できた • 一方、事前シミュレーションや関係者間の調整には改善の余地があった

自社の魅力発信と新たな学生との接点

自社の魅力を発信する機会に加え、単独では接点を持ちにくい学生との出会いも、企業にとって大きな効果となっている

今後の参加に前向きな企業が半数以上

回答の約半数が今後の参加に前向き。事前説明や企業間の調整、受入負担への配慮が、今後の参加促進のポイントとなっている

パッケージ型への参加意向　<企業 声例>	
積極的に参加	• 学生に自社の魅力を知ってもらう機会として、夏季・冬季ともに参加したい • 時期に関係なく参加可能
条件合えば	• 企業側の段取りや全体の流れについて、事前に詳しい説明が欲しい
検討	• 学生へのPR効果は期待できるが、受入人数と準備負担のバランスが課題

■ パッケージ型の成果と今後の改善方向

とっとりインターンシップ

複数企業を体験することで、学生の視野が広がり、企業にも新たな接点が生まれた

学生側の成果

複数の仕事を比較し、視野を広げる機会

1. 複数企業・行政を横断して体験
2. 当初関心のなかった企業・業種との出会い
3. 仕事理解と将来の進路選択の幅が広がる
4. 地域や暮らしの魅力を知る機会

学生満足度：100%（大変満足76%・やや満足24%）

企業側の成果

新たな学生との接点と自社の魅力発信

1. 自社の魅力・事業内容を発信する機会
2. 単独では接点を持ちにくい学生との出会い
3. 他業種の取組や企業間交流から得る刺激
4. 採用活動や今後の受入方針への気づき

企業評価：内容・構成88%／進行・日程84%

パッケージ型の体験価値をさらに高めるために

プログラムの内容から参加前の準備、体験後の学びまでを一連の流れで充実させる

01 各社の特徴が伝わる構成

共通テーマを軸に、各社の仕事や強みの違いを比較できる体験にする

02 参加前の見通しを明確に

日程・体験内容・移動・服装等を事前に共有し、安心して参加できるようにする

03 交流・振り返りの充実

企業横断の気づきや社員との対話を通じて、体験から得た学びを深める

複数企業を体験できる強みを活かし、比較・発見・交流が深まるプログラムへ

■ 総括：夏季の成果と今後に向けて

とっとりインターンシップ

単独企業型・パッケージ型を通じて、学生と企業の双方に新たな価値が生まれた

学生側の成果	対比の視点	受入企業側の成果
01 仕事への理解 実際の体験を通じた業種・職種への理解	仕事理解 × 魅力発信	01 自社を知ってもらう 事業内容や仕事の魅力を伝える機会
02 企業との出会い 複数企業・社員との接点による視野の広がり	出会いの広がり × 新たな接点	02 新たな学生との接点 普段接点を持ちにくい学生との出会い
03 自分・地域への気づき 自己理解や地域で働くことを考える機会	学び・気づきの 相互波及	03 社内への波及効果 若手社員の成長や職場の活性化

今回の成果｜学生は仕事への理解を深め、企業は自社の魅力を伝える。双方に新たな出会いと気づきが生まれました

成果を広げ、次につなげる運営側の役割

中央会コーディネーターとしては、企業と学生をつなぐ環境を整える

01 企業の受入れを支える

個別相談・プログラム作成支援
セミナーや企業間交流の機会づくり

02 学生と企業の出会いを広げる

早期登録への働きかけ・学生への情報発信
事前案内・調整の充実

03 成果を企業・次年度へ還元する

アンケート分析・受入事例の共有
結果を次年度の事業運営に反映

※早期登録・情報提供については、受入企業の皆さまにもご協力をお願いします。

■ 事前質問

1. ①パッケージ型の開催結果 聞きたい理由：当社予定分は未開催となったため ・どんなパッケージ型にどの程度参加があったのか。・パッケージ型に参加した学生の、参加理由は何か。・未開催となった主催者なりの考察。
②学生が望んでいること ・1社あたりの開催日数は1日が良いのか、複数日が良いのか。

2. 人事や総務、経理などの管理部門のインターンシップに人気な内容があれば教えて欲しい

3. 学生から人気なインターンシップの傾向

4. 参加学生の自己PR・日誌等の記入について、企業側で必須とするか・任意とするか・不要とするか選択できるようにして欲しいと感じました。可能でしょうか。

参考資料

アンケート結果の詳細（自由記述分）

別紙１～３：学生アンケート（全体）

満足した理由・参加後の改善要望

別紙４、５：企業アンケート

学生の評価・受入効果・今後の意見

別紙６、７：学生アンケート（パッケージ型参加者）

プログラム別の評価・実施タイプ別の傾向

別紙１　学生アンケート：満足した理由-1

とっとりインターンシップ

仕事体験・実務理解（14件）

1. 業界においてどのような仕事をしなければならないのか密に体験することができた
2. フィールドワークが面白かったから。
3. 企業体験で、人生で初めて体験したことを経験できた
4. 普段体験することのできない上流工程を実際のサービスに基づいて体験することができた
5. 実際に仕事内容を体験する機会は無かったが、事細かに研修をしていただいたのでよかった。質疑もしっかりと時間をとっていただいたので知りたいことを知ることができた。
6. 食品企業にとっての一連の流れを体験させてもらえたから。
7. 想像していた何倍も近くでそのお仕事を体験することができたため。
8. ワークショップ形式で、様々な業務を体験できたから。
9. 実際に自分が現地に行って職場の環境を知ったり、自分の中で興味があった営業に同行することができたから。
10. 参加できると思わなかったミーティングや、大規模建設の現場見学など、勉強できることが多かったため。
11. 病院の管理栄養士の仕事を実際に体験できる実習は探してもあまり多くなく、また、学生のうちに多職種の方と関わりながら栄養管理について学ぶ機会も少ないため、今回の実習はとても貴重な経験となった。
12. グループワークで、実践的な内容の体験をすることができたため。
13. 実際に働くとどういう感じなのかを見ることができたので良かった。

進路・自己理解（17件）

1. 初めての経験や知見を獲得でき、自分の就職活動を進める大きなきっかけになった。
2. 実習先において、実際に働くイメージも持てたし、現場見学も通してどのような仕事か、何が大切かがおおよそ理解できたため。
3. 実際の業務を体験することで仕事内容への理解が深まり、自分自身の課題や今後必要な力にも気づくことができたためです。
4. 非常にいい機会をいただき、自身のキャリア選択において影響があったから
5. 自分の将来にとても役立ちそうな内容だったため
6. 自分の望んでいた目的を達成できたため、満足しました。
7. 仕事内容を知ることができるだけでなく、貴重な経験がたくさんできたから。また、自分に向いている職種についても考えるきっかけになったから。
8. 自分のやりたい業種を絞るために参加して，大体絞ることができたから
9. 就職活動をする上で大切にしたい軸を今回参加して見つけることができたから
10. 企業と業界についてや、生成AIなどについて深く理解できたから。また、インターンシップに参加する以前より思考力と言語化能力がつき、成長したと感じられたから。
11. 企業について知れたのと自分に向いている仕事を確認できたと感じたから
12. 実際の現場で体験できるため、将来の働き方をイメージしやすい
13. 自身の将来について深く考えるいい機会となったため
14. 部署ごとの仕事内容を理解できた。社会人として働くイメージを持てたから。
15. 楽しかったり、自身の成長を感じたから
16. 実際に業務を体験できた。その中で、現在の専攻分野と関連分野がありその後の就活の時期になった。
17. 自分が社会人としてどれだけ通用するのかを少しだけわかったから

業界・企業理解（23件）

1. 気になる業種について知れて視野が広がったから。
2. 企業理解を深めることができ、今後の就職先として検討するようになった。
3. 最先端の技術を見れたのが楽しかった
4. 自分が知りたかった職種の概要などを知れたから。
5. 働くことについての理解度が上がった。
6. 自分が知らない業界を知ることができて満足したから。
7. 食品メーカーのさまざまな仕事内容について学べるから
8. プログラムがしっかりしており、業界の内容について理解することができたため
9. 今回のインターンシップで自分が予想していた量とは超える様々な知識を得ることができたから
10. インターンの目的である業種の理解が進んだから
11. 業種への理解が深まった
12. 丁寧に指導していただき、業務内容について理解を深めることができた。
13. 様々な人との出会いに加え、企業のことについても知ることができたから。
14. 自分の体験したい企業に行くことができ、仕事内容も理解度が深まったから。
15. 希望した職種について知れたから。
16. 今まで知らなかった業種を知ることができて、自分の視野が広がったと感じたから
17. 5日間でいろんな部署を回らせていただき仕事への理解が深まった。
18. 5日間を通して企業の様子や仕事内容を理解できたため。
19. 企業について実際の話を聞くことができたから。
20. 知りたいことはだいたい知ることができ、それ以外の知識も得ることができた
21. 職業に対する理解が進んだため

地域・暮らし（11件）

1. 初めて地元から県外に行き、インターンに参加しましたが、とても楽しくてもう一度行きたくなりました。
2. 業界のことはもちろん、米子で働くイメージを掴むことがとてもできたから。
3. 鳥取銀行のことが深く知れたし、銀行がどんな業務をしているのか実践形式で知ることができたからです。
4. 鳥取のことを知れ、会社の雰囲気も分かった。
5. 5日間を通して、普段の学校生活では経験できない現場見学や機器の操作、商品企画など、さまざまな体験をすることができ、とても楽しかったです。また、さまざまな分野で活躍されている方のお話を直接伺い、積極的に質問することで、自分にはなかった考え方や価値観に触れることができました。毎日異なる内容で新しい発見があり、地域づくりやものづくりについて理解を深めるとともに、自分の将来について考えるきっかけにもなったため、とても満足しています。
6. 業界理解を深め、鳥取で暮らすとはどのようなものかをイメージすることができたから。
7. 生活インフラを支えてくれている仕事について詳しく知れてそのありがたみを実感できたから。
8. 鳥取県の企業や大学教授の方らからさまざまな話を聞くことができ今後のキャリアに活かすことができる
9. 実際の試合運営やイベント業務、地域・企業との取り組みなど、幅広い業務を実践的に経験することができたためです。また、社員の方々から現場での考え方や仕事への想いを直接伺うことができ、スポーツクラブが地域に与える影響や、クラブ運営に必要な視点について深く学ぶことができました。自分自身の今後のキャリアを考える上でも、大変貴重な経験となりました。
10. 会社と地元の事業の関わりを知ることができた。お土産をもらった

別紙２　学生アンケート：満足した理由-2

職場・社員との交流（27件）
1. 従業員の方々が優しく教えてくださり、目立たない作業でも丁寧にすることが大切だと学べたからです
2. 職場の雰囲気と、中継現場での雰囲気両方を知ることができた
3. ラジオのことだけでなく人生についてのアドバイスをたくさんいただけたため。
4. インターンシップへの参加は初めてだったが、事前学習があったことの安心感や実習先の雰囲気も良く、肩ひじ張らずに参加することができたため。
5. 初のインターンシップとして雰囲気がつかめたため。
6. あまり詳しく知らなかった業種について理解を深めることができたから。リアルな仕事内容を体験でき、実習先の社員さん方が優しく迎え入れてくださったから。
7. 施設の見学が面白かったため。職員の方との座談会があり、職務のイメージがしやすくよいと感じたため。
8. フレンドリーに働いている方々と話すことができた。
9. 雰囲気を掴むことができた。コミュニケーションが活発で楽しく活動ができた。
10. 企業に関する知識もあまりない中での参加でも企業の方達が優しく接してくれたことで自身の聞きたいことも聞くことができたから。
11. 具体的な会社の説明から理念、社員と実際に交流することでわかった働いている現状のリアルなどを詳しく知ることができた。
12. LP制作体験やシミュレーション課題だけでなく、先輩社員の方とお話しできる機会があり、社内の雰囲気や休日のお話などを沢山聞くことができたから。
13. 企業の仕事内容や実際の雰囲気などを知ることができたため。
14. 自分の質問全てに答えてもらえた
15. インターンシップに参加したことで、多くのことを学んだから。従業員の方がとても優しく、楽しいインターンシップだった。
16. 社員の方々の雰囲気が良い、大学で学んだ知識が活かせたため
17. 職場の雰囲気や業務内容を丁寧に教えてくださったから。
18. 実習や社員の方との座談会を通じて企業の雰囲気がわかったから
19. 自分のインターンシップの目的である、職場の雰囲気を知ることを経験できたため
20. 実際に5日間現場で実習を行うことで、現場の雰囲気などを肌で感じることができたから。
21. 対応が親切丁寧だった
22. 職場の雰囲気やアクセスなどを知れインターンシップでの学びになった
23. インターンシップの雰囲気を知れたから。
24. 企業の雰囲気がわかった。
25. サポートが手厚いのと企業の方がたくさん準備してくれていたから
26. よくサポートをしてくれたから。
27. 企業の方が丁寧に優しく説明してくださったり、堅苦しい雰囲気を和らげるようにたくさんお話ししてくださったりしたから

学び・プログラム（18件）
1. 大変良い経験ができた。
2. 期待していた通りの実習で、学びたいことを学べたため満足している。
3. 自分の学びたいことやそれ以上のことを学び経験することができたから。
4. 話を聞くだけでなく、実際の現場の見学もさせてもらえたため。
5. 学びたいことを学ぶことができた
6. 悔いがなく、学べたから
7. 実習参加前の目標を達成することができたため
8. インターンシップ先の皆さんがとても優しかったです。
9. さまざまな人と関わることができて、多くの学びがあったから
10. 普段できない経験ができ、参加してよかったと感じたから。
11. 様々な体験をさせていただいたから
12. インターンに対する恐怖が薄れたため。
13. 実際の業務に携わることができたため
14. jリーグチームの運営を経験することは普通じゃできなかったから
15. 貴重な体験だった。学生主体でのイベント企画や試合前の準備など細かいところまで見ることができた。
16. いろんな体験をさせてもらえた
17. すごくいい経験になった

運営・サポート（2件）
1. 鳥取インターンシップ専用のページがあるため、流れに沿って進めることができ、わかりやすかった。
2. 実習前には想像してなかった学びがあり、とても充実したインターンだったから。その企業がとても好きになったから。

他・改善要望（4件）
1. インターンの内容などは全体的に満足しているが、服装や持ち物の記載が一切なかったのでやや満足とさせていただきました。
2. 回りきれなかったため（体験時間が十分ではなかった）
3. 業務内容の全体像が把握できたが、エントリーが遅れたために提示されていたものとは異なる活動になったことと、質問をあまりできずもっと準備して理解を深められるようにするべきだったと感じる。
4. 広く浅く知るために様々なプログラムが用意されていた。が、たまに連携がうまく取れていなかったところが垣間見えたため。

あまり満足しなかった（回答：1件）
1. 時間を持て余している時が多かった

別紙３　学生アンケート：改善要望

学生アンケートの自由記述から、改善につながる意見・要望を抜粋

【実習前から実習後まで】 学生の参加プロセスに沿った改善要望

① エントリー・参加決定

- エントリー後、受入先から2週間近く連絡がなく不安だった。日程が決まっていない場合でも、調整中である旨を一度連絡してほしい。アルバイト等の予定も立てにくかった。
- 実習日程が確定した段階で、メール等で早めに知らせてほしい。

② 実習前の連絡・事前案内

- 実習開始の1～2週間前に事前学習の案内が届き、準備期間が短く感じた。航空券等をいつ手配してよいか迷ったため、早めに案内してほしい。
- 実習前日まで担当者と連絡が取れず、集合場所の地図も当日案内だった。余裕をもって確認できるよう、連絡や案内を早めてほしい。
- 服装・持ち物・集合場所などを、できるだけ早く具体的に知らせてほしい。屋外実習の場合は、適した服装も分かると安心できる。
- 実習ガイドブックが届かなかった。事前資料の送付漏れがないよう確認してほしい。
- 当日の参加人数を事前に知りたかった。Web説明会を繰り返し視聴できるようにしてほしい。
- コーディネーターへの相談や問い合わせに対する返信が遅いと感じた。担当者間の情報共有も含め、窓口や回答時期を分かりやすくしてほしい。

③ 実習内容・プログラムの準備

- 初日に、実習全体の大まかな流れや各日の詳しい内容を説明してほしい。
- 実習内容や事前学習の必要性・位置づけが分かりにくい場合があるため、参加前に何を準備すればよいか明確にしてほしい。
- 参加前に服装やビジネスマナーが分からず不安だった。実習内容に応じた具体的な案内があると参加しやすい。

④ 実習中の対応・運営

- 初日に参加学生同士が交流できる時間や簡単なレクリエーションがあると、その後の活動や最終発表に向けて関係を築きやすい。
- 行政の実習日数・時間をもう少し増やし、複数の部署の業務や現場を体験できる機会がほしい。若手職員と話す時間も増やしてほしい。
- 見学だけでなく、実際に働くことを体験できる内容を増やしてほしい。社内見学や住民の声を聞く企画などもあるとよい。
- 街歩き・屋外活動は暑さが厳しく、説明に集中できなかった。実施時間を短くする、時間帯を工夫する、別の体験活動に変更するなどの配慮がほしい。
- 予定時間より終了が遅れ、電車の接続が合わず待ち時間が発生した。終了時刻を守るなど、公共交通機関との接続にも配慮してほしい。
- 参加日数や曜日の設定について、土日を挟まない日程や、もう少し余裕のある日程も検討してほしい。
- 宿泊場所が市街地から離れている場合、買い物や観光に出かけるための交通手段があると、より参加しやすい。
- 最終日の発表に向けて、学生同士が早い段階から交流できる機会や、振り返り・資料作成の時間を確保してほしい。
- 夕食を参加者同士で一緒に取る機会があると、交流が深まりそう。

⑤ 実習後の振り返り・フォロー

- 事後学習をオンラインでも参加できるようにしてほしい。夏休み中に帰省しており、参加したくても会場に行けなかった。
- 実習後の問い合わせや相談についても、回答時期が分かるようにし、必要なフォローを早めに行ってほしい。

⑥ 交通費・宿泊費等の助成手続き

- 交通費助成の申請についてチャットで問い合わせたが、返信がなかった。申請方法や問い合わせへの対応を分かりやすくしてほしい。
- 助成金がいつ振り込まれるのか、説明会の段階で具体的な時期を示してほしい。
- 前泊・後泊が助成対象となるかなど、対象条件を参加前に明確に案内してほしい。

別紙４ 企業アンケート：学生の評価・受入効果・今後の意向

① 学生に関して感心した点・気になった点

主体性・積極性、学ぶ意欲

【小売業】積極的に交流し、意欲的に取り組む姿勢

【建設】1年生からキャリア形成に向けて行動し、目的意識を持って参加

思考力・理解力・発信力

【鉄道・運輸】人の話をよく聞き、自分の意見を持って伝える力

【情報通信・新聞】学ぶ姿勢やデジタル処理能力の高さ

【食品製造】質問や挨拶が丁寧で、学びを発表に活用

コミュニケーション・協調性

【情報通信】企業や学生同士の交流、情報収集に積極的

【住宅関連】緊張がほぐれ、課題や発表にも楽しみながら取り組む

礼儀・態度、指導上の留意点

【建設コンサルタント・協同組合】訪問先での言葉遣いや学ぶ姿勢、場面に応じたスマホ利用には事前指導が必要

【建設コンサルタント】座談会中のスマホ操作が見られた一方、質問や交流に積極的な学生もいた

【文化施設】興味のある業種でなくても前向きに参加し、率先して動く学生もいた

② 受入れを通じた社内効果・気づき

担当者・社員自身の気づき

【自動車販売】学生に仕事や社員の思いを伝えるには、社員自身の成長も重要と気づいた

【鉄道・運輸】学生の積極性に触れ、受入れのやりがいを感じた

プログラム・教育内容の見直し

【情報通信・住宅】1Dayプログラムの改善点を発見。課題・発表は新入社員教育にも活用できる

【情報通信】学生の生成AI活用状況には差があると分かった

学生理解・関係づくり

【飲食行】学生は地元を大切にしていると実感

【情報通信】学生視点での情報発信の大切さを認識

【協同組合】参加企業同士の交流も必要と感じた

③ 今後の受入形態・実施条件に関する意見

受入日数・期間の考え方

【情報通信】1dayでは会社紹介で終わる一方、3日以上は対応時間の確保が難しい

【小売業】学生の人柄を知るには1日で十分との意見、対面で理解を深めるには3日では短いとの意見

実施形式・参加しやすさ

【小売業】学校開始後は、参加しやすい非対面・短時間の機会を増やしたい

受入れ体制・業務負担

【林業】4日間は長く、通常業務や担当職員の負担に影響

【電機】実習担当者の確保が難しい

【行政】個人情報を扱うため、実際の業務体験には制約がある

実施時期・プログラム内容

【小売業】長期休暇以外にも学生が応募したくなる企画を希望

【食品製造】実際の仕事現場に入り、やりがいを感じてもらいたい

【林業】対象学生や実施内容を明確にしたい。企業・大学教員の参画は有効だが、毎年の実施は難しい

別紙５　企業アンケート：意見・改善要望

① 広報・学生募集

【運輸業】制度は学生が参加しやすい仕組みだが、認知が十分でない。制度の存在をより積極的にPRしてほしい。

【卸売業・小売業】学生の集客にこれまで以上に力を入れ、参加人数が定員に近づくような広報・PRを期待したい。

【卸売業・小売業】長期休暇以外の時期にも、学生が応募したくなる企画を検討してほしい。

【情報通信業】パッケージ型に申し込んでも学生が集まらず、実施に至らなかったことがある。参加学生の確保につながる取組を期待したい。

【業種不明】業界研究段階の学生にも参加してもらえるよう、業界別インターンシップや業界セミナーなどを企画したい。企画段階から企業も協力したい。

【情報通信業】パッケージ型の内容や実施方法について、担当者が十分に理解した上で参加を検討したい。事前に内容を把握できる機会があるとよい。

② コーディネーターからの連絡・情報共有

【情報通信業】情報共有が開催日直前になる印象がある。企業側も担当者や受入体制を確保しているため、定期的な連絡など、共有の頻度や時期を改善してほしい。

【サービス業（他）】初めての受入れでも、日程調整や学生との連絡を事務局が細やかにサポートしてくれた。今後も企業と学生の間に立った調整支援を継続してほしい。

③ 企業訪問・受入中のフォロー

【情報通信業】パッケージ型の企業側の段取りや全体の流れについて、より詳しい説明がほしい。企業間のマッチングについても支援を期待したい。

【卸売業・小売業】他社がどのようなプログラムを実施したのか分かると、自社の内容や参加効果を振り返りやすい。

【行政】議会の会期中は受入れ対応が難しい場合があるため、実施時期や日程の調整に配慮してほしい。

【行政】個人情報を多く扱う業務のため、学生が実際の仕事を体験できる範囲が限られる。業務特性を踏まえたプログラム設計が必要。

④ 学生の参加目的・情報の共有

【卸売業・小売業】仕事体験中に事務局が学生へ取組状況を確認する場合は、できれば実習終了後にしてほしい。実習中は学生に体験へ集中してもらいたい。

【情報通信業】当日の進行にシミュレーション不足を感じ、スムーズに進まない部分があった。事前確認や進行手順の共有を充実させたい。

【農業・林業】受入れにあたり、実習日数が長いと通常業務に支障が出る場合がある。企業・団体の対応可能な日数も踏まえた設計を希望する。

【業種不明】コーディネーターが実習現場で学生の様子を確認し、企業にも寄り添ってフォローしてくれることが心強い。今後も継続してほしい。

⑤ 企業へのフィードバック・情報提供

【卸売業・小売業】単位取得を主な目的として参加する学生もいるように感じる。企業側は採用につながることも期待しているため、学生の参加目的を事前に把握できる方法があるとよい。

【農業・林業】学生が就業を目的としているのか、業界を知ることを目的としているのか、受入れ前に把握できるとプログラムを組み立てやすい。

【学術研究・専門・技術サービス】県外から参加した学生が、その後どの程度県内に就職しているのか、進路状況のデータを提供してほしい。

【卸売業・小売業】他社がどのような内容で実施したのか分からなかった。参加企業同士で実施内容を共有できる機会があるとよい。

⑥ 企画・パッケージ型の運営

【運輸業】インターンシップ参加後も学生とのつながりを継続できるよう、参加企業を対象とした合同就職説明会などの機会を検討してほしい。

【複合サービス業】学生だけでなく参加企業同士が交流できる機会もあると、企業間の学びや連携につながる

【卸売業・小売業】1day仕事体験の後、興味を持った学生が2days・5daysへ進めるなど、学生の希望に応じて段階的・柔軟に参加できる仕組みがあるとよい。

【業種不明】学生の率直な感想やフィードバックを、事務局経由またはシステム入力で企業に共有する仕組みがあると、今後のプログラム改善に役立つ。

【業種不明】他社のインターンシップの組み方や学生の意見など、受入企業に参考となる情報を継続的に提供してほしい。

【情報通信業】1Dayのカリキュラムが整備されれば、パッケージ型への参加を検討したい。

【飲食業】パッケージ型は非常に魅力的に感じるが、費用面で心配がある。

別紙６　学生アンケート(パッケージ型)：プログラム別の評価・満足度

プログラム	回答数	満足度平均	主な評価ポイント（学生コメント要約）	後輩へのアドバイス（学生コメント要約）
とっとり横断（建設ver）	4	4.8	• 複数の建設関連業種を体験し、仕事の違いや自分に合う分野を考える機会になった。 • 間取り作成など、住まいを自分で設計・デザインする実践的な体験が印象に残った。	－
鳥取市deインターン	6	5.0	• 行政と民間企業の仕事・職場を5日間で比較し、職業選択の幅や将来像が広がった。 • 市役所の幅広い部署・業務や、実際の仕事・職員の話に触れ、行政の役割への理解が深まった。	職場の雰囲気や働く人の声を自分の目で確かめ、積極的に質問してほしい。
若桜町暮らすインターン	(1)	(5.0)	• 企業見学や地域住民との交流を通じ、町への愛着や地域を支える人々の思いを実感した • 小規模な役場ならではの職員間の連携や、行政と住民との近さが印象に残った。	初対面の人とも積極的にコミュニケーションを取り、自分の将来につながる機会にしてほしい。
鳥取砂丘で観光業を体験	3	5.0	• 観光客として訪れるだけでは分からない観光業の裏側や施設運営を体験できた。 • 動画制作など、自分で考えて取り組む活動や、観光の仕事の魅力を実感した。	迷ったら参加してみること。気になることは質問し、学びと楽しさの両方を味わってほしい。
協同組合鳥取卸センター	(1)	(5.0)	• BtoB企業への関心から参加し、中小企業の強みや、その企業ならではの仕事の魅力を発見した。 • 学校給食など、普段は接する機会の少ない体験が印象に残った。	実習を通じて、鳥取や卸団地への親しみが深まった
鳥取県協同組合連絡会	(1)	(4.0)	• これまで知らなかった協同組合の役割や活動を知る機会になった。 • チームで開発に取り組む経験が印象に残った。	－
倉吉市で暮らすインターン	3	4.7	• 行政・民間企業の体験や地域で働く人との交流を通じ、地元企業や仕事への理解が深まった。 • 倉吉のまち歩きや、次年度の企画立案・プレゼンテーションが印象に残った。	参加前に地域や企業について下調べをしておくと、学びが深まる
倉吉で暮らす（建設・土木）	(1)	(5)	• 曖昧だった建設・土木業界への理解が深まり、将来の見通しを持つきっかけになった • 若手社員の話や、行政と民間の役割の違いを知ることができた。	受け身にならず、積極的に話や活動に参加してほしい
琴浦町で暮らすインターン	5	4.5	• 複数企業での体験や働く人との交流を通じ、仕事や地域の魅力、将来の選択肢を知ることができた。 • 参加学生同士で生活や活動を共にし、交流を深められたことも大きな学びになった。	企業の方だけでなく、参加学生同士のコミュニケーションも大切にしてほしい。
旅するインターンin三朝温泉	(2)	(5.0)	• 旅館の仕事を体験・見学し、スタッフとしての業務や宿の運営を知ることができた。 • 実習時間外には食事・温泉街など、三朝温泉の地域の雰囲気も楽しめた。	－
米子市で行政・企業体験	11	4.5	• 5日間で行政と複数企業を比較し、仕事内容や職場の雰囲気、業種ごとの違いを理解できた。 • 営業同行・実務体験や、米子アリーナ等の地域課題を考えるグループワークが印象に残った。	事前に企業・行政について調べ、毎日の振り返りや積極的な質問を大切にしてほしい。
米子市3企業で地域活性化	(2)	(5.0)	• 業種の異なる企業を体験し、業界を比較しながら自分の関心を考えることができた。 • 人事担当者や経営者との対話、営業同行を通じ、企業や取引先から見た地域の魅力を知った。	自己紹介の機会が複数あるため、伝え方をいくつか準備しておくとよい
境港で行政・企業体験	6	4.8	• 行政と企業の仕事を通じ、地域の暮らしを支える役割や、仕事の現場・裏側を知ることができた。 • 地域の温かさや参加者同士のつながりも、満足につながった経験として挙げられた。	緊張しすぎず、職員や参加学生と早めに交流し、気になることは積極的に質問してほしい
日南町で暮らすインターン	4	4.5	• 地域の人や農業に関わる人との交流、自然体験などを通じ、日南町の暮らしや地域の魅力を知った。 • 数日間寝食を共にすることで、仲間との交流や自分自身を見つめ直す機会になった。	事前に予定や服装を確認し、地域で暮らしながら学ぶ貴重な機会を積極的に楽しんでほしい

※1.回答数が2以下は参考値として（）で表記　2.満足度は5段階

別紙７　学生アンケート(パッケージ型)：実施タイプ別の傾向

【学生の声より】（抜粋）

	感じた魅力	印象に残ったこと	今後の提言	
行政参加型	• 地域全体への影響力や公共の視点から、地域課題を考える仕事に触れられる • 住民・地域団体との交流や、行政と民間の連携を体感できる	• 市民ニーズを考えるグループワークや、行政施設・事業の見学が印象的 • 市役所の幅広い部署や役割を知り、利益だけでなく地域全体の暮らしを支える仕事と実感	• 行政の実務体験や複数部署を知る時間を増やしてほしい • 企業体験との日数バランスを工夫してほしい • 暑さを考慮した屋外活動、終了時刻・交通接続への配慮、初日の学生交流の機会	学生は公共性と丁寧な住民対応に関心 実務体験と職員との対話が理解を深める
暮らす体験型	• 地域で働く人や住民との交流を通じ、地域の暮らしや人の温かさを感じられる • 数日間の共同生活で、参加学生同士の交流や学びを深められる	• 地域の人との会話や食事、自然体験など、現地で暮らすからこその経験 • 寝食を共にした仲間との交流、まち歩きや企画立案・プレゼンが印象に残った	• 初日の流れ、服装、宿泊環境、交通手段などの情報を早めに知らせてほしい • 見学だけでなく、実際に働く体験を増やしてほしい • 日程や食事面など、滞在中の生活面にも配慮してほしい	学生は地域の人との交流や共同生活に魅力 事前情報と仕事体験の充実が満足度を高める
観光型	• 地域の魅力を直接発信でき、観光客との交流を楽しめる • 観光施設・イベントを体験しながら、チームで働く楽しさや自分のスキルを試せる	• 自分で材料を集めて動画を制作するなど、観光の魅力を発信する体験 • ゲストハウスやグランピング施設の運営の裏側を知ることができた • 天候によって観光客の動きが変わることも実感	• 改善要望の記述は少数で、具体的な追加要望は確認されなかった • 実際の施設運営や情報発信など、現場に関わる体験が印象に残っている	学生は地域の魅力発信や施設運営に関心 体験と情報発信を組み合わせることが効果的
複数企業型	• 一度に複数の業種・企業を体験し、仕事や職場の違いを比較できる • 自分の興味・適性を考え、業界や企業を見る視野を広げられる	• 住まいの間取り作成・設計、営業同行、チームでの開発など、企業ごとの実務体験 • 普段接する機会の少ない仕事や、取引先とのやり取りを知ることができた	• 初日に学生同士が交流できる時間を設けてほしい • 送迎場所など移動面への配慮があると参加しやすい • 充実した体験時間を確保し、自己紹介や振り返りの機会も設けてほしい	学生は企業比較を通じて理解を深める 企業間の情報共有と、学生同士の交流・振り返りが効果的